

# あなたも一緒に、大阪ルネッサンスを!

# なにわ名物開発研究会NEWS

設立10周年を新たな節目として、なにわ名物開発研究会は「大阪の元気発信」にこれからも全力投球します。およそ100名の会員さんと、それぞれの皆さんに繋がる多様な人脈が織りなす「しなやかなネットワーク」。それが私たちの資産、大きな誇りです。研究会が主催するネットワークパーティーには、多士済々、さまざまな分野の人たちが集い、参加者が驚くほどの熱気に満ち溢れています。さまざまなムーヴメントを単体ではなく融合的に、広くそして深くつなげていくことが私たちの使命です。大阪ルネッサンスの旗手として多彩な仕掛けを駆使し、知恵とネットワークで新たな成果をカタチにする「いちびりチャレンジ」に参加しませんか!



代表幹事  
野村 育郎  
(株)せのや



副代表幹事 商品開発部担当  
野村 卓央  
(株)アルカナ



副代表幹事 ビジネス交流部担当  
島野 涉  
島野珈琲(株)



副代表幹事 総務部担当  
松本 好正  
会社員



副代表幹事 広報部担当  
灰谷 幸  
ライターズチーム\*HAPPY



総務部副部長  
水谷 英一  
富屋製菓(有)



総務部部長  
石川 史雄  
(有)経営支援オフィスB・A・N

総務部



広報部副部長  
岩崎 雅明  
(株)いわさき



広報部部長  
田中 正雄  
(有)サムネット

広報部



ビジネス交流部副部長  
岸本 敏裕  
(株)岸本吉二商店



ビジネス交流部部長代行  
伊藤 二郎  
アイトック(株)

ビジネス交流部



商品開発部副部長  
山本 武司  
(株)スマイル



商品開発部部長  
藤井 学  
ベロス(株)

商品開発部



ビジネス交流部部長  
日野 泰秀  
(株)ARS

えらいでしょう  
なついても、今年度は  
なかなか参加できずに  
おまへんねん。伊藤さん、  
部長代行よろしゅう  
頼みます!

事務局



会計  
所 信昭  
(有)リーガルアシスト



事務局長  
大熊 章悦  
OHKUMA企画



事務局次長  
山下 敦子  
(有)アシスト



なにわ名物開発協会  
マーク認定委員長  
北出 芳久  
財団職員



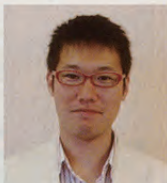
なにわ大賞  
チームリーダー  
内田 邦子  
NPO法人雅夢



なにわ大賞  
チーム副リーダー  
阪上 博通  
(株)阪上商店



マーケティング  
チームリーダー  
原 晃樹  
(有)なにわ創信舎



まちづくり活動  
チームリーダー  
小田 切聡  
西代官山クラブ



大阪学研究  
チームリーダー  
井村 身恒  
オダサク倶楽部

<第20号>  
2006年8月1日発行  
発行  
なにわ名物開発研究会  
編集 広報部



QRコード  
機種によっては読み取れない  
場合もございます。

●本部  
大阪市中央区難波1-7-2  
SENOYAビル3F  
TEL・FAX (06)6213-5554  
http://www.naniwa-meibutsu.com/  
●事務局 (会議や諸事連絡)  
大阪市中央区本町橋2-23  
第七松屋ビル1231  
TEL (06) 6947-5260  
FAX (06) 6947-5254

入会について  
■入会金■  
10,000円 (正会員)  
5,000円 (協力会員)  
■年会費■  
36,000円 (正会員)  
12,000円 (協力会員)

あなたの夢に人を巻き込め

「企画力！ビジネス・プロデューサーになる50の方法」（講談社刊）の著者、デジタル・トーキョー代表取締役横山征次さんは映画・雑誌等数々のメディアの第一線で活躍されている。企画能力講座として実施された今回の講演では、当会とも縁のある新作映画「おぼちゃんチップス」の企画方法、才能がありながらブレイクできずにいたボーカリスト、平井賢再生のテクニク等実践を交えた大変中身の濃い講義となった。良い企画とは「企画段階でその到達目標についてどれだけリアルなイメージができてくるか」そして「そのイメージが企画スタッフ全員に正確に伝わっているか」が重要であること。「良いプレゼンテーションとはクライアントに『納得』してもらおうものではなく、『ゴーサイン』を出してもらうもの」等と企業経営にも通じる哲学を披露。「全ての行為は『創る』という行為に集約される」との言葉が印象的であった。

文/田仲基一



▲左/企画力もさることながら、実行に移すパワーに並々ならぬものを感じさせる横山先生。右/月例会の総会司会、総務部・阪上さんが担当



▲商品づくり、まちづくり、人づくり…。すべてに活用が利く「企画力」は、みんなの関心が高いテーマ

良い汗流そうボウリング大会

平成13年に私が第1回の準備をさせて頂き、今年で第6回となりました。優勝者は、名誉と共に優勝トロフィーを1年間授けられ（大げさ）、次年度の優勝者に引き継ぎます。トロフィーは、なにわ名物に相応しく爪楊枝の刺さった「たこ焼ボールトロフィー」。ボウリング場でボールをもらってきて、なにわのメンバーさんにお願ひし、なんと第1回の開催に間に合わせました。初めてのボウリング大会の企画でしたので、なにかと準備が大変。にもかかわらず、今まで一度も優勝できずに悔し涙をのみ続けてきました。しかし、やっと今回優勝！6年ぶりに手にしたトロフィーを、さっそく当社カフェに飾りました。「よう帰ってきたな！お帰り！」って、囁いた自分がいきました。

文/島野珈琲(株) 島野 渉

- 歴代優勝者
- 第1回 吉里忠史
  - 第2回 吉里忠史
  - 第3回 高西 正
  - 第4回 中村一三
  - 第5回 野村育郎
  - 第6回 島野 渉



▲左/「まだまだイケるな…」と、好成绩に気を良くした田中さん。右/懇親会&表彰式は、昭和ムードの「せんば・自由軒」で



▲タバコと比べて大きさ実感！たこ焼ボールトロフィー

総会・特別講演会・ネットワークパーティ

【特別講演】「目からウロコが落ちる」と評判の、日本政策投資銀行の藻谷浩介 参事役に「集客観光都市大阪 落第OR優勝生？」とのテーマでご講演頂きました。自ら全国を飛び回られ、各地の実態をつぶさに調査・把握された事実をベースに語られた内容は、思わずウーンと唸らされました。種々のデータをご提示頂き、それを如何に読み取るか。観光事業、土産物開発に活かしていくか。データの活きた読み取り・使い方を、分かり易く、実戦的にご説明頂き、大変有意義な講演でした。藻谷先生、有難う御座いました。また、参加できなかった会員さんは、非常に損をされたと思います。紙面で損の一部を取り返していただけるように、印象に残ったポイントを幾つかご紹介しましょう。▼ギラギラ燃え立つ、アキンド精神を発揮しろ ▼自信を取り戻せ ▼これからの大事な顧客層である退職者・高齢者層（60〜70代）を対象に、売り方・商品の開発をしろ ▼観光客相手に地元産を売れ ▼地元でとれる物で土産・名物を作れ ▼ユニークな物を作る小さな店を増やせ ▼売り上げの中で、地元で落ちる部分を増やせ ▼地域ブランド作りでのポイントは、品質の信頼・地の人が消費者として使う物・愛用している物・地元的生活その物がブランド ▼これからは人の時代…。以上、ほんの一部のご紹介で申訳御座いません。



▲景気の良し悪しには、世代別人口の増減・比率が大きく影響していることをわかりやすく説明して下さった藻谷先生

【ネットワークパーティ】今年は、1000名を越す方々にご参加頂きました。オプザバーとしてマスコミ、地元諸団体、商店会、なにわ大賞の受賞者の方々、催し協賛企業さんなど約60名の方のご参加。お忙しい中、大阪府、大阪市の皆様のご参加を頂きました。何時もながらの熱気ムンムン、ワイワイガヤガヤ。それに押されたのか、上がるはずの無い司会役の某副代表、すっかり上がった。盛りが上がった、楽しいパーティの一時でした。最後は恒例の、小南陵師匠の大阪締めで盛況裏にシャンシャン。皆さん有難う御座いました。

文/OKUMA 企画 大熊章悦



▲乾杯の御発声は、(財)大阪市協会 本部長・山崎茂樹氏

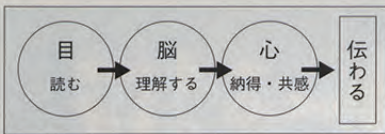


▲左/オダサクが主人公の映画製作に乗り出している金秀吉監督。声も、体も、構想もデカイ。右/こう見えて(どう見えて?)野村代表の大阪への想いもデカイです!

「文章」をテーマにした月例会が開催されました。講師は、当会副代表でもあるコピーライターの灰谷幸（ハイタニミユキ）さんです。灰谷さんは、毎週水曜日発行の夕刊フジにエッセイを連載するなど、関西が誇る売れっ子ライターです。

大阪ネタや街づくりをテーマとすることが多い当会の月例会としては、異例の内容でしたが、会場は大盛況でした。「野暮ったい文章でもプチ整形すると見違えるほどスマートな文章になります」。そんな話とともに、いくつもの事例が紹介されました。

文章は、読む人の共感がないと意味が伝わりません。ずっと前に「言霊（ことだま）」という言葉を覚えてくれた人がいました。講師が話している時に、ふとその言葉が脳裏に浮かびました。



▲広報部が担当の月例会らしく、文章をテーマに講演



▲文章をプチ整形する際のコツに興味津々の参加者



▲札幌の「大\*大阪博覧会」の報告をする野杖代表



文／(有)リーガルアシスト 所信昭

会員自己紹介

NPO法人雅夢 (和太鼓 雅)

〒572-0037  
寝屋川市葛原新町12-1-105  
FAX 072-829-4461

「太鼓叩いてどこまでも」と、昨年は、タイ国プーケットでの復興支援コンサートや、新世界モダンシティ、大阪の顔通天閣で叩きました。なにわ名物開発研究会との出会いは、第1回なにわ大賞・特別賞を頂いた事からです(野村副代表から応募をそのかされ?ましたのが

一、日本一、いや世界一の太鼓打ちに。大阪から世界へ、和太鼓(みやび)は、太鼓の音に大阪一のいちび



地元の人に太鼓歓迎された、ブーケでの野外コンサート



太鼓叩いてどこまでも♪

縁です)。第1回も〜て〜式は、改装前の中央公会堂の大会議室で、その後、地下の食堂での受賞パーティで和太鼓の演奏をした時は、窓ガラスがビリビリ振動して、食堂のスタッフが慌てて窓をあけた事を覚えています。難波のど真ん中精華小劇場や新大阪の駅中で叩いた事など、ほんまになにわ名物では、いろんな所で楽しませていただいています。大阪一、日本一、いや世界一の太鼓打ちに。大阪から世界へ、和太鼓(みやび)は、太鼓の音に大阪一のいちびり精神をのせて発信して行きます。いつでも、どこでも太鼓の事は、雅にお任せください。文／内田邦子

速報! 第9回なにわ大賞

7月28日に贈呈式(も〜て〜しき)が行われ、今年も大勢の「いちびりサン」が集いました。

- 大賞..... たなかやすこ おはなしの会 主宰のたなかやすこが、昔話や戦争体験などをやさしい大阪弁で語る会
- 準大賞..... 大小路界限(夢)倶楽部 「旧環塚都市・堺の復活、まちづくり活動つまようじ資料室 世界50カ国から、古今東西・過去現在のようじを収集 (財)大阪21世紀協会特別賞..... 都島区貴志康一記念事業運営委員会 音楽家・貴志康一を顕彰していく、地元・都島の音楽愛好家の有志 石浜恒夫記念賞..... 西俣 稔 魅力ある大阪の歴史文化をガイド 特別賞..... 宇野 晶 S Pレコード収集家 河村 信幸 道草おじさん こいさんず 還暦パワーの女子「ドラゴンポート」チーム 松村 長二郎 50年以上にわたりフィルムで平野のまちの風景や行事などを記録 淀屋研究会 先人(淀屋)の業績の掘り起こし、大阪人の士気の高揚 (敬称略)

※詳細は次号で

掲示板

■新入会員(3~6月度)  
白ハト食品工業株式会社  
飲食店、菓子製造販売

■移転  
オダサク倶楽部(井村身恒)  
〒599-8125  
堺市東区西野91-6  
TEL 072-236-6465  
FAX 072-322-0553

田仲基一  
〒583-0882  
羽曳野市高鷲1-2-22  
加賀屋醤油(株)大阪営業所  
〒530-0034  
大阪市北区錦町4-82  
ジャパン・フード&リカーアライアンス  
食品販売(株)内  
TEL 06-6354-2171  
FAX 088-674-3287

■転勤  
鎌田利幸  
〒540-8551  
大阪市中央区城見1-4-24  
NEC関西ビル  
NECシステムテクノロジー(株)  
TEL 06-6945-3476  
FAX 06-6945-3825

※事務局に連絡があった情報を掲載しています。

はみだしアルハム

6月の広報部会は、他部会からの参加者を交えて親睦会を行いました。「アート・杉本式」により、みんな、楽しくハメをはずしました。

ほく オフゼーバーなんてすけど...

イヤッ、代表やめて〜っ!

島野も男前にしたる!

なにわっほくなつてきたで



阪上さんは塗料販売会社を経営している。塗料は産業や生活のあらゆる場面で、製品を際立たす重要な材料である。その中で販売会社は顧客の求めに応じて、指定された塗料を納品する。阪上商店は長年大手家電メーカー品の塗料を扱ってきたが、競争に揺るぎはないが業者間の競争も激しいことから、単なる塗料の運び屋では淘汰されてしまう。このことを早くから気づいていた阪上さんは、顧客ニーズを正確に捉え、的確な製品提供をするためのラボを設置した。新製品開発を進める顧客に対して、

現在ではラボを大手顧客の要請による研究開発に用いている。パーソナルユースは売上に繋がらないと避ける傾向があるが、新しいネタは案外、異なる文化からもたらされることが多い。今後の課題はお客のプラスに役立つ提案をすることで、そのためにはラボをパーソナルユース対応も含めて、多面的に活用することだ。

石山史雄の  
なにわこまはつたるまじです  
【第6回】 (株)阪上商店

活動報告

中之島まつり

5/3~5

参加者コメント



天下茶屋あられ 中島英雄  
毎回、手焼きのおかきを  
実演販売させてもらってます  
「中之島まつり」に参加して約  
10年。祭りの主催者、テントの  
設営や準備に協力してくださ  
る方、そして、連休にもかかわらず  
足を運んでくださる方に  
毎年感謝しています。例会で  
は話したことがない人とも場  
所を変えたと話しやすいこと  
があり、このイベントは、会員  
同士の貴重な交流の場にもな  
っていると思います。



▲ガゼボの「きっと、勝つサン」は発売!



▲品質表示を見て「添加物入ってないから買うわ」という人もいた。黒屋の「黒五いわし」



▲織田作之助のことを語らせたら右に出る者はいない、井村身恒さん



▲左/オダサク倶楽部と島野珈琲のコラボで、中之島まつり限定のオダサク珈琲も完成。右/ブースにはオダサクも登場!



「市民の手による、市民のためのまつり」として昭和48年に始まった中之島まつり。今年も当会は、ブースを二つ陣取った。ペロスの藤井リダーを先頭に黒屋の山川氏と天下茶屋あられの黒屋氏が連日奮闘。汗流し、声枯らす。その傍で軒先借りたオダサク倶楽部。お馴染みオダサク珈琲の香りとは場違いなマント姿の客引き、文学散歩、蓄音機、シネマサ

ロン、「声に出して読む織田作」などなど。夫婦善飴やコンペイトウ「ベンゲットの星」といった織田作銘菓も花を添えた。

文/オダサク倶楽部 井村身恒

活動報告

大阪ドームで草野球

5/14

5月14日(日)午前0時より「大阪ドーム」で草野球大会を開催。プレイヤー26人、見学者17人、審判約3人。プレイヤーはお揃いのTシャツ&帽子で球場入り。グラウンドに足を踏み入れるとその大きさと美しさに圧倒され、見学のお子さんや女性陣まで走り回って、マウンドや人工芝の感触を楽しみました。試合は赤組と青組16人ずつの対戦。珍プレイが続出したものの救急車のお世話になることもなく、6回裏でタイムアップ。試合の結果は8対5で、お酒をたくさん消費した青組が

勝利しました。最優秀選手(ドラゴン賞)は、4月のポウリング大会でも優勝した島野珈琲の島野さん。最初の打席でレフトオーバーの2塁打(なんでや?)は飛距離も素晴らしく、まさに快心のあたり(本人談)。休憩タイムでは見学者もバッターボックスに立ち、プロ野球開催球場でのバッティングを



▲「オムツ姿の赤ん坊のような体型」という、周囲の声もなんのその。やる気満々の野村代表



参加者コメント



(株)アート、コーポレーション  
田中義秋  
気持ちは清原。同じように  
きれいな弧を描いてみせる!  
大阪ドームで野球? 想像すると  
楽しみが膨らんだ。練習をする  
こともなく足を踏み入れ、  
バッターボックスに立つ。5年  
ぶりに握るバット。1回2回と  
素振りをしたが何かおかしい?  
これではゴルフスイングだ。でも  
気を取り直し、渾身の150キ  
ロストレーツ(?)を目いっぱい  
振った。見事な空振り。ぜひ  
リベンジのチャンス!

参加者コメント



ファイナンシャルプランナー  
吉原直志  
雨でもできる。夜中でもできる。  
大阪新名所(?)発見!  
大阪を活性化するためには大阪  
を好きにならなければならない。  
好きになるには大阪を知らな  
ければならない。知るためには  
参加しなければならない。で、  
午後11時30分に大阪ドームに  
集合。野球は楽しいことを再  
確認。人工芝でもイレギュラー  
は起こることを発見。マナー  
の良いメンバーと、お世話  
いただいた方々に感謝。



上/この構えで、えらい飛ばした島野さん。右/北陽高校野球部出身の山本さん。瞳の中には炎が!?

楽しみました。深夜の行事でしたが、夜中とは思えないほどの盛り上がりを見せ、参加者一同は大満足。早くも、次回の開催を希望する声があがっていました。

文/シャープ産業(株) 中嶋敏雄



右/寝ころんで、芝生と一緒に記念撮影。これだけでも参加した値打ちアリ!



▲(株)せのや・坂本さとみさん

【訂正】19号1面の3段・20行にある織田作之助のコメント引用文に誤りがありました。正しくは、「大阪は産都市として発展するとともに文化都市を目指すべきでした。お詫びし、訂正します。」

【編集後記】昨年9月、渋谷の東急百貨店で大成功を収めた「天々大阪博覧会」が、6月に札幌の東急百貨店でも開催されました。そのときの写真に、とっても素敵な笑顔を見ました。この笑顔で、札幌の人の心を鷲づかみ?!(灰)



青組ベンチ



赤組ベンチ